

ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野・グラスゴー会議について（報告）

1 開催日時

平成27年1月23日（金）・24日（土）

2 開催地

イギリス・グラスゴー市

3 参加都市

ボローニャ、セビリヤ、グラスゴー、ボゴタ
マンハイム、ハノーバー、浜松（ゲント、ブラザヴィルは欠席）

4 会議内容



音楽分野・グラスゴーの会議の様子

① 各都市活動状況報告

各都市 15 分程度のプレゼンテーションを行った。（都市紹介、現状・計画報告等）
浜松市としては、12 月に開催する世界創造都市フォーラム in 浜松 2015 の周知と参加の依頼、世界音楽の祭典 in 浜松 2016 への協力を要請。

② 音楽文化活動の評価指標と測定方法に関する調査研究

音楽分野の創造都市政策の効果測定・調査研究に関する協力体制を議論するため、音楽分野の調査研究のエキスパートである Alastair Evans(クリエイティブ・スコットランド所属)及び Martin Cloonan(グラスゴー大学)両氏の参加をいただき議論を進めた。
音楽分野の創造都市の施策事業の測定・評価方法として、各地域の大学等との連携を図ると共に、ワンナイト調査、創造都市インデックス、世界都市文化フォーラム指標、モジュラー調査の4つを候補とし、今後さらに議論を深めることとなった。

ワンナイト調査	メルボルンが毎年実施している、一夜間においてどの程度の（音楽に関する）活動量・観客動員数等があったかを測定するもの。
CCI	チャールズ・ランドリー氏が開発した創造都市インデックス（指標）による評価方法を活用するもの。（ボローニャ、ゲント、マンハイムが実施）
世界都市文化フォーラム(※1)	世界文化都市フォーラムの加盟都市が毎年提出している都市レポートの評価方法を活用するもの。
モデューラー・リサーチ	ライブ音楽、音楽教育、音楽産業インフラなどの単位ごとに調査し評価するもの。
オーストラリアの調査(※2)	音楽文化産業における10の分析

(1)世界都市文化フォーラム / World Cities Cultural Forum

アムステルダム、ボゴタ、香港、ロンドン、ニューヨーク、マドリッド、モスクワ、パリ、ソウル、上海、シドニー、東京などの各国の主要都市22都市が参加。美術館や博物館、図書館からギャラリー、劇場、世界遺産の数など文化的指標を掲げ文化都市としての政策評価を報告している。

③ 音楽分野加盟都市相互のコミュニケーションの活性化

フェイスブック、ツイッター、ホームページ、スカイプ討議などインターネットを活用した音楽分野のサブネットワーク都市相互の情報共有やコミュニケーションの活性化を図る。

グラスゴーが中心となりニュースレターを年4回程度発行することに決定。各市は情報を提供する。

④ ゲント市宣言の改定

2010年9月にポーロニャ、ゲント、グラスゴー、セビリアの4市で締結された「ゲント宣言」は音楽教育や音楽祭などの相互協力に関するパートナーシップ協定であるが加盟都市の増加に伴い改定する。

⑤ ショーケース・スコットランド

ケルティック・コネクションは1月15日から2月1日までの18日間に24の会場で何百というミュージシャンが参加するケルト音楽祭。

音楽祭開催中の1月21日から25日に開催された「ショーケース・スコットランド(3)」に音楽分野の加盟都市も参加。

(※3) 「ショーケース・スコットランド」

ケルティック・コネクション音楽祭の期間中にグラスゴー市、クリエイティブ・スコットランド、ブリティッシュ・カウンシルにより運営されるスコットランドの若手音楽家たちを紹介するとともに世界からのプロモーター等の興行主とのビジネスマッチングを行うイベント。

今回は16回目の開催となり、若手音楽家70団体のコンサートが市内各所で5日間にわたり開催された。一方、音楽家とのマッチングにはブリティッシュ・カウンシル、スコットランド政府関係者、ユネスコ創造都市・音楽分野加盟都市をはじめ、コンサートの興行主や劇場経営者、コンサートホール経営者、エンターテインメント企業、音楽祭主催者、自治体関係者など79名が参加した。



メイン会場となったロイヤル・コンサート・ホール



会場での楽器の展示即売の様子



音楽バンドのトレード・フェアの様子



コンサートの様子